

脳機能食品原料を販売

「アラカ」ツボクサから抽出

一丸ファルコス

化粧品や健康食品の原料メーカーの一丸ファルコス(本巢市浅木、安藤芳彦社長)は、脳機能向け食品原料「ARACA(アラカ)」の販売を始めた。インドやスリランカの伝統医学では記憶力を増進するハーブとされるツボクサの抽出物で、高齢者の健康維持や、学習や勉強をサポートする健康食品市場を中心に提案を進める。

(青山和史)



脳機能向け食品原料「ARACA(アラカ)」の原料となるツボクサ(一丸ファルコス提供)

岐阜薬科大(岐阜市大学西)との共同研究により、ツボクサ抽出物にはストレス条件下で神経細胞の保護作用があることを確認し、有効成分が「アラリアジオール」であることを解明した。さらに成分の単離に初めて成功し、研究論文でも発表された。

健康な被験者に対するモニター試験では、6週間の継続的な摂取により計算問題の正解数やタイピングの正タイプ数が増えた。脳に負荷がかかるテスト後の疲労感軽減にもつながった。

インドや東南アジアではサラダやスープ、カレーの具材としてツボクサの葉を食べる習慣がある。インドやスリランカからツボクサ原料を調達して自社で成分を抽出し、粉末原料として製品化・供給していく。

同社が脳機能向け食品原料を販売するのは初めてで、高齢化社会が進展する中、高齢者向けの認知機能改善だけでなく、脳の力を引き出すブレインフードとして幅広く提案する考え。